



## ディボーション質問表

### 19日(月) ミカ書 2:1~13節 支配者階級に対する審判(1-11)、神の民の回復(12-13)

ミカ書の区分は、1~3章(イスラエルとユダに対する告発)、4~5章(終末の王国についての預言)、6章(神のイスラエルに対する論争)、7章(預言者の祈り)です。

1. 神から目を離れた人は、今度は周囲の人につらくあたるようになります。このような搾取が起きるのをどこかで見た事がありますか。またこのような生き方は人間の理性にどんな影響がありますか？
2. 神の回復の預言が後半に出てきます。このことは私たちに何を教えていますか。また、神が先頭を行かれる時に人の生き方はどのように変わるのでしょうか？

### 20日(火) ミカ書 3:1~12節 民の指導者に対する審判

1. イスラエルの教師達、先見者達は神の義(正しさ)とその基準を知り、教えていました。しかし、なぜ偶像に席巻されてしまったのでしょうか。正義を語る事と行う事の違いを考え、それぞれ人にどんな影響を与えるのかを考えてみましょう。
2. ことばだけの正義が前面に出てきた為に、歴史上の残酷な事件が起きました。あなたはことばだけの正義に安住していませんか。またそのような自己義認によってきよい良心が麻痺している事はないでしょうか？
3. 今も昔も人の罪には大差がないことがわかります。その中で真理を語る勇気を神に求めましょう(8節)。

### 21日(水) ミカ書 4:1~13節 王国の状況(1~5)、招かれる者(6~8)、激励(9~13)

1. この箇所から、神の人類に対するどんな計画を見いだしますか。またその預言の中で私たちが最も感謝すべき点は何でしょうか？
2. 3節には、神の平和が描写されていますが、今日の平和条約とはどのように異なりますか。また、このような神の平和のために神が用いる人とはどんな人達でしょうか？
3. イスラエルの崩壊と苦しみを神はどのように回復されますか。それは今日、苦しみの中にいる人たちにこそ、神の計画がある事のしるしです。あなたにはどんな苦しみがありますか。神の前にそれを差し出し、力をもらいましょう。

### 22日(木) ミカ書 5:1~15節 メシヤの来臨

1. 神のイスラエルの回復に関する預言は驚異的です。このような回復プロセスを通して、イスラエルはどんな恵みを受けていますか。また私たちが困難、試練を通して変えられていくプロセスに何か共通点があるのでしょうか？
2. 人の成長のしるしは責任を負う事にある、とはよく言われますが、それだけではない事がわかります。イスラエルはどのようにして、ミカの時代の状態(偶像礼拝全盛時代)から脱していますか？
3. あなたは神からの悟りをどのように実践していますか。自分の生涯を通して何を表すか考えてみましょう。

### 23日(金) ミカ書 6:1~16節 告発(1-5)、応答(6-8)、指導者に対する告発と審判(9-16)

1. 高価ないけにえにも匹敵する私たちの礼拝は何でしょうか(8節)。
2. 正義、親切、謙遜が当時のイスラエルに求められていた神からの願いでした。あなたはこの3つの領域で自分の弱い部分がありますか。またそれを実践する為に今日何ができるのでしょうか？

### 24日(土) ミカ書 7:1~20節 不正に対する嘆き(1~6)、勝利に立つ告白(7~20)

1. ミカはこの最終章で私たちに何を願っていますか。あなたが受け取った彼を通しての、神のメッセージを書き出してみてください。
2. 彼の祈りの中で神のどんなご性質が表されていますか。またあなたは神のどんなご性質にかなった祈りをしていますか。今日実践してみましょう。